

平成30年度 学校自己評価システムシート（県立春日部高等学校 全日制）

目指す学校像	校訓「質実剛健」、教育方針「文武両道」を実践し、広く社会で活躍できるリーダーを育てる進学校
--------	-----------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

重点目標	<p>1 学力向上－勉学と特別活動を両立させる生徒を育成する。</p> <p>2 使命感－使命感を育む教育活動を推進し、自己実現を果たす力を身に付けさせる。</p> <p>3 情報発信－本校の魅力を積極的に発信し、より一層開かれた学校づくりを推進する。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局（教職員）	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価（月日現在）			実 施 日 平 成 年 月 日	
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	
1	<p>「学力向上」 文武両道に取り組み、第一志望への進学を果たす生徒もいるが、1・2年生では自己管理ができず学習時間を十分に確保できない生徒も存在する。</p>	<p>○難関国立大学への進学意識の向上</p> <p>○生徒の学習に対する主体的な姿勢の育成</p>	<p>○実力テストの情報交換会や分析会の結果、面談等を通じて、生徒の難関国立大学への志望意欲を維持していく。</p> <p>○相互の授業参観や予備校が主催するセミナー等を活用し、教職員が指導力向上や授業改善を行う。</p> <p>○年度当初のオリエンテーション等で「春高手帳」の活用 の意義を理解させ、生徒が学習計画などのスケジュール管理を主体的に行なえるようにする。</p>	<p>○方策を活かし、現役で難関国立大学の出願者数が、昨年度（106名）より増加したか。</p> <p>○生徒アンケートで授業充実度の数値が昨年度（80.7%）より上回ったか。</p> <p>○生徒アンケートで「自己管理ができています」と回答した生徒が50%を上回ったか。</p>					
2	<p>「使命感」 生徒の中には、主体性やリーダー性を発揮して学校生活を過ごしている者もいるが、積極性に欠けている者も存在する。</p>	<p>○主体的に活動する生徒の育成</p> <p>○社会の中核を担えるリーダーの育成</p>	<p>○教育活動全般において、教職員が生徒の主体性を重んじた指導を意識的に行う。</p> <p>○SSH事業を活用し、生徒の主体性を養う。</p> <p>○骨太リーダー育成リベラルアーツ事業、グローバルリーダー育成塾への積極的な参加を促し、生徒のリーダー性を養う。</p>	<p>○生徒アンケートで「課題発見能力が向上した」と回答した生徒が昨年度並み（94%）であったか。</p> <p>○骨太リーダー育成事業に参加した生徒者数が昨年度並み（のべ189名）であったか。</p> <p>○生徒アンケートで「リーダーとしての意識が向上した」と回答した生徒が昨年度（1年：91.5%、2年：80.2%）を上回ったか。</p>					
3	<p>「情報発信」 HPを中心に情報を発信しているが、県民や中学生等からの最新の情報を要望する声に応えていく必要がある。</p>	<p>○様々な媒体を用いた本校の教育活動の発信</p> <p>○新たな視点での生徒募集活動の展開</p>	<p>○部活動や学校行事の最新情報の提供を行う。</p> <p>○中学校以外にも、塾や予備校に重きをおいた募集活動を行い、本校の魅力を正確に伝える。</p>	<p>○更新回数が昨年度（212回）を大きく上回ったか。</p> <p>○塾や予備校の訪問回数が100回を超えたか。</p>					